

Zoom Up

人

いつか故郷に帰ってきて
この土地に住まないとできない、
そんな作品を描いてみたいですね



小田 ひで次 さん

●おだ・ひでじ 本名小田秀次(おだ・しゅうじ)。昭和56年平館高校を卒業した後、東京の専門学校でデザインを学ぶ。平成5年に「拡散」で漫画家デビュー。8月25日に「ミヨリの森」がフジテレビ系の夏休み特別企画でアニメ化。優柔不断と自己分析する45歳。宇都宮文星短期大学ビジュアルアート専攻非常勤講師、NPO法人風景の生命を守る地域づくりネットワーク理事。血液型O型のおひつじ座。大更出身。東京都在住。公式ホームページ <http://www.odahideji.com/>

NPO法人事務所にて



実

家が書店を営んでいたこともあり、子どものころから自然に読むだけにとどまらず、描くことの楽しさを知り、次第にその魅力に取り付かれていったという。

高校に進学しても漫画への情熱は冷めることはなく、現在も続く日本で3番目に歴史のある漫画同人誌即売会「コミマーケット」の立ち上げに関わったほど。そこまでの強い思いを持った小田さんが漫画家を目指したのも、ごく自然なことだ。

「田舎暮らしをするのもいいな、と思ってもらえたら」との思いが込められている。

小田さんは、自然や歴史風景に宿る「生命」を後世に残し、地域づくりに活かそうと活動する特定非営利活動法人「風景の生命を守る地域づくりネットワーク(田村麗丘代表理事)」の理事を務め、その活動を伝える「サイカチ物語」や「縄文街道すごろく」を描いている。これらは「ミヨリの森」にも影響を与えているのだという。

雑誌連載などのほか、宇都宮文星短期大学でビジュアルアート専攻の非常勤講師を勤めて後進の育成にも当たる。多忙を極める毎日だが、漫画を描くことを使命と考え、そこに迷いはない。

将来は、活動の場を故郷に移すことも展望し、その日が来ることを目指して、今日もペンを走らせている。